

講座タイトル名「探求を生みだす教育的認識論と総合学習の設計」

宮城文芸研 徳水博志

第1回 探求学習に有効な「教育的認識論」

1月24日(土)20:00~21:30

(1)文芸研の教育的認識論と総合学習

- ・探求学習は果たして成功するのか
- ・文芸研の教育の目的:子どもを変革主体に育てる *教師自身も変革主体となるべき
- ・文芸研の国語教育の目的:物事の本質、法則、真理、真実、意味、価値を言葉で認識し表現する力を育てる
- ・「教育的認識論」による「国語科と他教科の関連」系統指導から総合学習へ発展
- ・日本生活教育連盟に学ぶ/文芸研の総合学習「森・川・海と人をつなぐ環境教育」(電子版あり)



(2)「認識の方法」を活用した総合学習の実践例に学ぶ

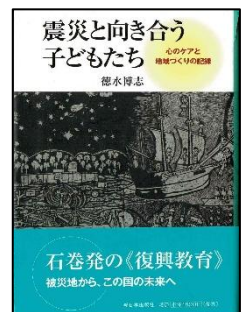
- ・震災後の子どもの実態—新しい“荒れ”、子どもの学びの欲求にこたえる学びとは
- ・子どもの学びの要求と地域の要求から「復興教育」を立案
 - 「地域復興を学び、社会参加する活動」
 - ・2011年6年生単元名「雄勝硯の復興とまちづくりについて考えよう」
 - ・2012年5年生単元名「雄勝湾のホタテ養殖と漁業の復興を調べよう」
- *授業記録の動画視聴と授業展開を説明
- ・比較(対比・類比)、順序、類別、条件、仮説、理由・根拠、類推などの「認識の方法」の活用の実例
- ・子どもの認識の変化:「興味ないし!雄勝は破滅!投げやりな言動」➡「僕も復興させたい」へ成長

第2回 子どもが震災体験の「意味づけ」を通して深く学ぶ探求学習

2月14日(土)20:00~21:30

(1)被災児の心のケアのオリジナルな開発—先行実践無し、診療内科医の助言により立案

- ・震災2年目の子どもたちの“荒れ”—投げやり、トラブル、教科学習の不成立
- ・子ども理解の転換の必要性に気付く—「千年に1回の災害を体験した子どもたち」
- ・筆者の被災体験の対象化と「意味づけ」に実践構築のヒント
- ・教師にとっては「子ども観の転換・教材観の転換」、子どもにとっては「学びの転換」



(2)「震災体験の対象化と意味づける学び」—5年単元名「震災体験を記録しよう」

- *拙著『震災と向き合う子どもたち』から
- *授業記録の動画視聴と授業展開を説明
- DVD『ぼくたちわたしたちが考える復興～夢を乗せて』日本児童教育振興財団制作
- ・作文による意味づけ—「虚構の作文指導」



- ・五七五で表現した俳句の意味づけー「虚構の作文指導」
 - ・表現活動(朗読劇、絵本制作、立体ジオラマ制作、版画、共同版画)による意味づけ
 - ・感想文、詩による意味づけー「虚構の作文指導」
-

第3回 総合学習における単元構想と評価

2月28日(土)20:00~21:30

(1)総合学習の単元全体の設計(単元構想)

- ・教科学習(モデル教材)との違いー 生きた現実の多様な素材を扱う際の注意点
- ・テーマ設定:日本生活教育連盟に学ぶ(現代的なテーマ、子どもの興味関心が高い、価値のあるテーマ)
- ・テーマの教材分析:「認識の方法」と「認識の内容」を意識して
- ・共通の体験活動の構成の工夫: 個人課題の予想と連続的な問い(共通課題)へと発展させる工夫
- ・子どもの学びの深化のイメージと到達目標の大まかな設定

(2)「課題解決の指導と評価の基本型」(2000年作成)

- ・課題解決の基本型: 共通の体験活動➡個人課題の設定➡個人課題の解決➡共通課題の設定➡集団解決➡個人で新聞制作
- ・評価の規準と効果的な支援と指導の工夫

(3)子どもの探求を深める手立て

- ・学習カードの工夫、掲示物、実物教材の持ち込み、外部講師、海の体験活動の導入、社会科や理科の学習内容の活用(類推)、書く活動の導入、根拠を明らかにして論理的に書くための基本文型、学級通信で発信
-

第4回 自ら変革主体となる(学校と地域にて)

3月21日(土)20:00~21:30

(1)教師時代

- ・教職員組合の教研活動、民間教育運動への参加
- ・東日本大震災に遭遇: 復興教育の立案と実践、復興まちづくり協議会委員(学校再建部担当)

(2)教員退職後: 地域の復興事業で地域の変革主体へ

- ・雄勝花物語の事業: ガーデン設立と運営、北限のオリーブの6次化、防災教育
- ・持続可能な雄勝をつくる住民の会の設立、9.7m防潮堤の反対運動
- ・低平地利活用事業: 雄勝ガーデンパーク推進協議会の設立、雄勝ガーデンパーク事業
- ・2023年~雄勝小中併設校の授業支援(復興・防災マップづくり)

(3)見えてきたこと: 「地域に根ざす教育への展望と教師の役割」

- ・月刊誌『教育』2025年8月号執筆論文「復興教育から何を継承するのか~地域に根ざす教育への展望」